

津軽白神 ふれあい通信

津軽白神森林生態系
保全センター

平成26年6月発行 No.97



五月女冠のハマナス

第9回 白神山地周辺の人と森との 共生活動に関する協議会を開催



会議の冒頭事務担当者からの挨拶

6月24日（火）弘前市の青森県武道館で、第9回目の「白神山地周辺の人と森との共生活動に関する協議会」を開催しました。

この会議は、当センターで実施している自然再生活動、ボランティア団体の活動支援に関する手法などについて学識経験者の方々から提言をいただき、今後の活動に活かすために実施しているものです。



飯塚森林整備部長の挨拶

会議では冒頭、東北森林管理局飯塚森林整備部長より、「国有林野事業は昨年度から一般会計の下で事業を実施しており、国民や地方の行政等と連携を密にして、国有林の組織、技術、資源を活用しながら様々な課題に対処することがテーマになっている。その中で生態系保全センターの役割も見直す必要があると考えており、そのためにもこの協議会の役割は大きいと考えている。」との挨拶があり、その後議事に入り、昨年度行った自然再生活動などの事業報告や、今年度の

事業計画、ニホンジカ監視のためのセンサーカメラ設置について報告を行いました。

当センターでは、協議会で出された意見等を踏まえ、引き続き地域の関係者等とも連携した生態系の保全や自然再生等の事業を実施して参ります。

平成26年度第一回巡視員会議を開催しました

5月31日（土）、青森県側の平成26年度第一回白神山地世界遺産地域巡視員会議が、西目屋村中央公民館で、ボランティア巡視員ほか関係者約60名が参加して開催されました。

当日は、主催者を代表して東北森林管理局関口計画保全部長より挨拶があり、ボランティア巡視員への委嘱状の交付の後、議事に入りました。

議事では関係各機関の平成26年度における白神山地世界遺産地域の保全に関する計画の説明などがあり、その後質疑に入りました。

今年度は、近年全国的に問題となっているニホンジカの生息調査の話題が主となり、環境省や東北森林管理局が設置を予定しているセンサーカメラの設置についても活発な意見交換がされました。

今年度、東北森林管理局ではニホンジカを目撃情報があった箇所を中心にセンサーカメラを設置する予定です。また職員や林業関係団体の協力により、ニホンジカを目撃したりシカの声聞いた場合にチェックシートによる調査をすることとしました。ニホンジカの生息が確認された場合には、科学委員会で対応を検討することとしています。

東北森林管理局では、巡視員の皆さんの協力を得ながら今後も白神山地世界自然遺産地域の保全に努めて参ります。



十三湖クリーン作戦に参加しました

5月29日（木）五所川原市十三の五月女范国有林で、津軽森林管理署金木支署主催の十三湖クリーン作戦に、当センター職員が参加しました。

当日は晴れてこの時期にしては暑いくらいの天候になりましたが、金木支署職員はじめ関係者およそ60名が参加して、不法投棄されたものや漂着したゴミを拾い集めました。集めたゴミは、漂流したプラスチックゴミがほとんどでした。

閉会にあたって細田支署長から、この取り組みを通じて自然環境の保全に寄与していきたいとの挨拶があり閉会となりました。

この日集めたゴミは、不燃ゴミが五所川原市のゴミ収集車1台分、可燃ゴミが軽トラック1台分となりました。



白神山地世界遺産周辺地域

クリーン作戦に参加しました

平成26年6月1日（日）に白神案内山の会・白神歩く会（山田兼博代表）は通称白神ライン（県道28号岩崎西目屋弘前線）周辺において、今年も「白神自然体験 WALK & クリーン作戦」を実施しました。

当日はアクアグリーンビレッジ ANMON 駐車場に小中学生を含む総勢40数名が集合し当センターからは職員3名が参加。「暗門の滝歩道」等の3班に分かれ、午前中いっぱいまで道路や林内のゴミを拾い集めました。

同クリーン作戦は毎年同時期に実施しており、ゴミは年々減少しているとのことです。



クリーン作戦開始前のミーティングです



こちらでもやはり大量のゴミが集まりました

観光資源マップ作成実行委員会現地視察



赤石溪流の案内看板を確認します



アユの稚魚を放流しました

平成26年6月22日（日）に「白神山地と赤石溪流の観光を考える会」の今年の主事業である観光資源マップ作成のため赤石川上流域白神ラインに係る観光資源の現地調査・視察が行われ当センターからも職員が参加しました。

当日は、町道赤石溪流線沿いの「くろくまの滝」、「青岩」、白神ライン交差点の看板等の視察や金鮎を育む赤石川へのアユ稚魚の放流を行い、観光資源の洗い出しや視察内容等の意見交換を行いました。

考える会では、今後、更に現地調査・視察を重ねて来年1月に観光資源マップの作成報告会を行うこととしています。

当センターでは観光資源マップ作成事業委員会の協力者として参画し、国有林を含めた地域観光資源のPRや観光等の誘客に寄与することとしています。

第二回自然再生活動を開催します!

今年度第二回目の「自然再生活動」を開催いたします。ただいま参加者募集中ですので、多数の皆様のご参加をお待ちしております!

日 時 平成26年7月26日(土)
集合場所 青森市役所柳川庁舎前 午前7時
実施内容 白神山地の自然再生に向けた、
広葉樹苗木の掘取り及び仮植。
くろくまの滝への散策など。

その他 募集人員20名。

参加費200円程度(傷害保険料として)

昼食、飲み物、雨具をご持参ください。

応募多数の場合は、抽選で参加者の決定をいたします。

グループでの申し込みは、1グループあたり5人まででお願いいたします。



昨年度の自然再生活動、散策の様子

間もなく梅雨も明けようかという時期になりましたが、今春、赤石溪流沿いで見かけた春の花々をご紹介します。



○キクザキイチリンソウ

白い花のものと、薄紫の花の
ものがあります。



○カタクリ

いずれも春の野山を代表する
花々です。



○ニリンソウ

津軽白神森林生態系保全センターホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/tugarusirakami/index.html>